



山門右手の基地石 善教寺「石」シリーズ その6
『基地石』と命名 子供の頃、勝手に『基地石』と名付けて、この石の上で遊んでいました。

【行儀（ぎようぎ）】
行儀という言葉は、一般に起居動作の作法、たちいふるまいを表す言葉です。「えらく他人行儀じやないか」のように、行為そのものを指す場合もあります。
行儀とは、本来、出家修行者が日常おこなう行（歩く）・住（とどまる）・座（すわる）・臥（寝る）などの行為の規則、礼拝などの仏事のたちいふるまいの方法、つまり「行」事の「儀」礼を表す仏教語でした。
今ではそれが一般市民の間に取り入れられたようです。

楽しい仏教用語

その24

【行水（ぎようずい）】
行水というのをご存知ですか。たらいに湯や水をくんで、それを浴び、汗などを流すことをいいます。

行水でさっぱりした後、ゆかたを着て、縁台で涼むなど、なかなか風情のあるものでした。今では、こんなのどころか風景はほとんど見られなくなりましたから、シャワーを浴びて、ということになりますかね。

仏教では『長阿含経』というお経の中に「手に自ら斟酌して食訖（じきおわ）りて行水し」とありますから、行水は、食後、鉢や手を洗うことをいったのでした。

そこから、潔斎のために、清水で身体を洗い身を正すことになり、それが一般にも広がり、今の意味になったようです。

日本では、入浴はもともと仏教の作法で、僧以外の人々は、最初は海や川で簡単に身体を洗う程度でした。僧が温水により清浄にしていたのが、一般社会にも浸透していったのです。

（辻本敬順氏「仏教用語豆辞典」参照）

住職レター

空梅雨と思つて心配をしておりましたら、数日間の土砂降り。万遍なく降って欲しいなと嘆くも、自然相手ではどうしようもなく…。梅雨が空けると、今年も酷暑の夏がやってくるのでしょうか…。

さて先日（五月二十六日）、初参式（善教寺仏教婦人会主催）

を勤めました。初参式とは、お子さまの誕生後、初めて仏さまの前で手を合わせ、お祝いする仏教行事です。お子さまと共に親も仏さまに手を合わせ、生まれたことの意味を確かめていただく大切な儀式。親として生きた出発点であり、赤ちゃんによつて与えられた尊い仏縁であります。



初参式（平成25年5月26日開催）



初参式へ来賓出席いただいた
宮川総代、石原総代、西田総代

お参りされた赤ちゃんたち、この尊い仏縁にあわれたこと、大きくなつても覚えていけるかな？。忘れていたとしても、遺伝子レベルで細胞の片隅にでも、ご記憶として残っている嬉しいです。
毎年、五月の終わりの日曜日に勤めておりますので、来年こそ縁がありましたら、ぜひお参りくださいな。